

地域おこし協力隊通信 (No. 44) 地域を好きになる (由華)



こんにちは！4月から中種子町へ移住し、夫婦で地域おこし協力隊を務めている湯目です。今月は相方の由華(ゆか)が書いていきます。

8月9日には、高校生が企画・運営を行ったイベント、『旭町通りよろゝて市』がありました。高校生が企画し、多くの地域の方にお力添えいただき、町にとって有意義なイベントになったのではないかと思います。企画をしてくださった種子島中央高校の有志の皆さん、先生方、イベントに関

わつてくださった皆様、当日イベントに来てくださった皆様、この場を借りてお礼申し上げます。たいと思います。

6月中旬、普通科3年生の授業にお邪魔したことをきっかけに、今回のイベントに参加させてもらいました。『種子島を元気にしたい。コロナで大変な飲食店を助きたい。だからテイクアウトを軸にイベントをしよう！』と、背景と目的が非常に明確。解決方法も具体的に感激しました。毎日のように放課後に会議を行い、旭町通り

を歩いて大人に説明する姿を見かけた方も多くいたのではないのでしょうか。

町を元気にしたい。でも町の人には迷惑をかけないよう慎重に行わなければならない。と、強い責任感をもって高校生の皆さんは取り組んでいました。

企画だけでなく、旭町商店街を中心に店舗さんへのお願いや、SNSを使用した広報、当日の運営まで、本当に素晴らしいと思います。

今回改めて思ったことは、地域を元気にするには、住民が地域を好きなことがとても大切だということ。『旭町通りよろゝて市』によって、改めて旭町商店街の店舗さんの料理や町の農産物を知ったり、人の温かさを感じるものが出来たのではないのでしょうか。

「あまり関わることのない町の人と話せて、町の人が好きになったし、より中種子町が好きになった」という言葉が聞けて、私もよりこの町が大好きになりました。

種子島という地理上、どうしても高校や大学のために若者が島外に出してしまうのは避けられません。大切なのは、①子供たちに種子島を好きになってもらうこと、そのためにも②参加する大人が楽しんでること、だと思えます。

高校生のやりたいを一緒に実現したい！地域の魅力を発掘したり、再認識できるようなイベントをするためにアイデアがほしい！ということがあれば、ぜひ私たちにお声がけください。微力ではありますが、地域を盛り上げるための仕組みづくりのお手伝いができれば幸いです。

